



資 料

報道機関への資料配布日時 令和2年12月7日（火）10時00分

タイトル	令和2年度「森と人を育てるコンクール」賞状伝達式について								
内 容 (目的・趣旨)	<p>【概 要】</p> <p>1. 趣旨 全道の各地域において適切な森林整備を実践し、模範となる優良林分を育てている森林所有者及び木育活動の実施者を評価、表彰し、林業技術の向上や森林づくりに対する道民の意識高揚と参加促進を図る。</p> <p>2. 主催 森と人を育てるコンクール実行委員会【(公社)北海道森と緑の会、(一社)北海道造林協会、北海道森林組合連合会、北海道の4者】</p> <p>3. 令和2年度入賞者 ○森林所有者部門：最優秀賞2名、優秀賞7名、奨励賞9名 ○木育活動を行う団体等部門：最優秀賞1団体、優秀賞1団体</p> <p>【伝達式】</p> <p>1. 日 時 令和2年12月15日（火）10:30～11:30</p> <p>2. 場 所 仁木町役場応接室（仁木町西町1丁目36-1）</p> <p>3. 内 容 受 賞 者：大森 政春さん（仁木町在住） 受賞内容：森林所有者部門『奨励賞』 受賞林分：トドマツ41年生 0.82ha（仁木町旭台）</p> <p>4. 伝達者等 伝 達 者：後志総合振興局森林室長 立 会 者：仁木町長、ようてい森林組合代表理事組合長 事 務 局：後志総合振興局森林室普及課</p>								
参 考	令和2年度コンクール実施要領、令和2年度コンクール入賞者名簿								
報道解禁	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<table border="1"> <tr> <td>テレビ・ラジオ・インターネット</td> <td>月 日 ()</td> <td>時以降</td> </tr> <tr> <td>新聞</td> <td>月 日 ()</td> <td>刊以降</td> </tr> </table>	テレビ・ラジオ・インターネット	月 日 ()	時以降	新聞	月 日 ()	刊以降	
テレビ・ラジオ・インターネット	月 日 ()	時以降							
新聞	月 日 ()	刊以降							
報道（取材）に当たってのお願い	<ul style="list-style-type: none"> ・仁木町の森林所有者として初めての受賞となります。 ・取材いただける場合は、所管課・係に事前連絡をお願いいたします。 ・マスク着用など、新型コロナ感染症対策へのご協力をお願いいたします。 								
道政記者クラブとの同時発表	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり								
所管課・係	後志総合振興局森林室普及課普及推進係 担当 普及推進係長 國井 清嗣郎 〒044-0034 北海道虻田郡倶知安町南4条西1丁目 TEL 0136-22-4859 FAX 0136-22-3749								

令和2年度森と人を育てるコンクール実施要領

1 趣 旨

全道の各地域において適切な森林整備を実践し、模範となる優良林分を育てている森林所有者及び木育活動の実施者を評価、表彰し、林業技術の向上や森林づくりに対する道民の意識高揚と参加促進を図る。

2 名 称

令和2年度森と人を育てるコンクール

3 主 催

森と人を育てるコンクール実行委員会（以下「実行委員会」という。）

（公益社団法人北海道森と緑の会、一般社団法人北海道造林協会、北海道森林組合連合会、北海道の四者で構成し、公益社団法人北海道森と緑の会理事長が実行委員長を務める。）

4 事務局

実行委員会の事務局は、公益社団法人北海道森と緑の会に置く。

5 実施方法

(1) 参加資格及び対象林分

○森林所有者

参加資格

- ・ 民有林のうち私有林（展示林、普及施設等の普及指導に利用されている森林を除く。）の森林所有者。

参加基準

- ・ 森林の適切な管理・育成により、地域の模範事例と認められる次の林分
- ・ 過去に「ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール」の表彰を受けた林分（最優秀賞は除く）であっても、受賞の翌年度から5年以上経過し、新たに間伐等の施業を実施した林分も対象とする。ただし、出展回数は2回を限度とする。

樹種：トドマツ、カラマツ類（グイマツを含む）（以下カラマツという）、アカエゾマツ、スギの人工造林地

面積：トドマツ、カラマツ、アカエゾマツは0.50ha以上

スギは0.30ha以上

林齢：各樹種31～45年生

○木育活動を行う団体等

参加資格

- ・ 木育活動（植樹・育樹は必須）を積極的、継続的に実践している団体・企業等
- ・ 過去に「ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール」の表彰を受けた団体（最優秀賞を除く）であっても、受賞後5年以上を経過している場合は参加資格を有するものとする。

参加基準

- ・ 木育活動（植樹・育樹は必須）を5年以上継続していること

(2) 参加申し込み

参加者は、参加申込書（様式第1号、様式第2号）に別表1の資料を添えて、7月17日（金）までに各（総合）振興局森林室（以下「総合振興局等森林室」という。）へ提出する。

各（総合）振興局等森林室は、予備審査により、森林所有者に係る3部門の中から1林分と、木育に係る1団体・企業等を選定し、別表2に掲げる資料を7月27日（月）までに水産林務部森林環境局森林活用課に提出する。

なお、渡島総合振興局東部森林室、渡島総合振興局西部森林室、檜山振興局森林室については、地域の主要樹種がスギであることから、森林所有者に係るスギ部門での提出を必須とし、他の部門がある場合は、トドマツ・アカエゾマツ、カラマツの中から1林分のみ選定し提出できるものとする。

(3) 一覧表の提出

森林活用課は、参加申込書等の内容を確認のうえ、参加部門ごとの一覧表を添付して事務局に提出する。

(4) 審査の実施

審査は、実行委員会が別に定める「森と人を育てるコンクール審査要領」による。

(5) 審査基準

別紙1、2の「森と人を育てるコンクール審査基準」による。

(6) 表彰

森林所有者（トドマツ・アカエゾマツ、カラマツ、スギの3部門）、木育（1部門）の各部門ごとに、次の入賞者を決定し表彰する。

最優秀賞	1点	北海道知事
優秀賞	最優秀賞以外で優秀と認められるもの	実行委員会委員長
奨励賞	優秀賞まで入賞以外の参加者	実行委員会委員長

別表1

区 分	提 出 資 料
森林所有者	写真（林分全体の状況・特徴がわかるもの、標準地、枝打ち等の状況） 位置図（5万分の1）、 地域森林計画図（5千分の1）
木育活動を行う団体等	写真(活動状況等)、位置図（5万分の1）、 活動実績書（様式第3号）

※写真はJPEGデータで提出

別表2

区 分	提 出 資 料
森林所有者	予備審査表、総合審査表、標準偏差計算表、平均胸高直径・樹高算出表、 標準地調査野帳、収量－密度図等
木育活動を行う団体等	予備審査表、総合審査表

●森林所有者部門

◆最優秀賞

氏名・団体名	居住市町村	樹種	林齢	参加林分の所在地	森林室名
清原 賢一	中標津町	カラマツ	38	中標津町	根 室
菅野 勇夫	せたな町	スギ	33	せたな町	檜 山

※トドマツ・アカエゾの部については、最優秀賞の該当なし

◆優秀賞

氏名・団体名	居住市町村	樹種	林齢	参加林分の所在地	森林室名
清水 信男	豊浦町	トドマツ	40	豊浦町	胆 振
南 武	旭川市	トドマツ	42	旭川市	上川南部
佐々木 キミ子	剣淵町	トドマツ	45	剣淵町	上川北部
中野 浩司	訓子府町	トドマツ	43	訓子府町	オホーツク東部
去場共同山 代表 古川實	平取町	カラマツ	34	平取町	日 高
藤尾 義次	当麻町	カラマツ	44	当麻町	上川南部
西田 啓晃	福島町	スギ	32	福島町	渡島西部

◆奨励賞

氏名・団体名	居住市町村	樹種	林齢	参加林分の所在地	森林室名
大森 政春	仁木町	トドマツ	41	仁木町	後 志
石川 敏	豊富町	トドマツ	36	豊富町	宗 谷
落合 秀典	湧別町	トドマツ	32	湧別町	オホーツク西部
山田 治雄	芦別市	カラマツ	36	芦別市	空 知
松本 丞	石狩市	カラマツ	34	石狩市	石 狩
中村 武	遠別町	カラマツ	36	遠別町	留 萌
永井 勝正	帯広市	カラマツ	31	豊頃町	十 勝
八巻 治次	釧路市	カラマツ	32	白糠町	釧 路
濱田 孝子	北斗市	スギ	31	北斗市	渡島東部

●木育活動を行う団体部門

◆最優秀賞

団体名	活動所在地	森林室名
特定非営利活動法人 おうむ夢プロジェクト	雄 武 町	オホーツク西部

◆優秀賞

団体名	活動所在地	森林室名
胆振森林サポーターの会	厚真町・苫小牧市	胆 振